

整形外科専攻医カリキュラム および 勤務要領

1. 目標

運動器疾患や運動器障害のある人に対して、整形外科学を身につけ貢献すること
そのためには、日本整形外科専門医資格の取得を目指すこと

2. 研修スケジュール

下記の表に従って研修をします。

年度	
1年度	整形外科の病棟および外来、休日、時間外の救急外来 ER直
2年度	整形外科の病棟および外来、休日、時間外の救急外来 ER直
3年度	整形外科領域における臨床専門科（脊椎外科、関節外科、リウマチ科、手の外科）の研修および基礎的研究 ER直
終了後の予定	名古屋大学整形外科の関連病院で専門医や大学院入学をめざす。

3. 診療科の特徴

当院は、東三河地方の唯一の3次医療機関です。この地区の人口は、77.7万人であり、高齢化が進んでいます。最近の医師不足もあり周辺の病院の規模縮小もあり当院の重要性が増しています。従って、責務は重大です。働きがいがあり、症例も豊富です。当院は名古屋大学整形外科学教室の関連病院です。当院整形外科で後期研修をする場合には、名古屋大学整形外科学教室に入局していただくこととなります。

当院の整形外科は、関節外科、脊椎外科、手の外科と大きく分かれています。6ヶ月毎にそれぞれの科に所属して研修し、その後は主として希望する専門領域の研修と基礎研究をします。なお、関節外科ローテーション中には、リウマチ教室の開催があります。講演演者となり、患者さんや家族へ関節リウマチの啓蒙活動の仕事があります。また 病棟および外来の業務配分は、部長の指示で決めます。病院の定めた当直規定により外科当直勤務があります。他科研修中は、規定により配属先の科における当直要員となります。基礎系各科、放射線科、その他の領域についても必要に応じ積極的に指導を受ける心構えが必要です。カリキュラムはやむを得ない事情により変更を余儀なくされることがあります。

4. 研修体制

1) 教育病院の指定

日本整形外科学会専門医研修病院 日本リウマチ学会教育病院

日本手の外科学会認定研修病院

2) 研修カリキュラム

日本整形外科学会「整形外科専門研修カリキュラム」に準拠します。

3) 取得可能な認定医および取得可能な時期

日本整形外科学会専門医の受験資格：

- ①学会員 4年以上
- ②研修 6年以上（臨床研修期間を含む）
- ③認定施設での研修（臨床研修期間を除く） 3年以上
- ④担当すべき患者数：10例
- ⑤学会発表：主発表者として1回以上
- ⑥論文数：1編以上

リウマチ専門医：まず基本領域学会の専門医の資格が必要。

手の外科専門医：日本整形外科学会あるいは日本形成外科学会専門医の資格が必要。

4) スタッフ体制

部長4名、副部長2名、常勤医1名、専攻医6名

5) 症例検討会、抄読会のスケジュール

- (1) 症例検討会： 毎週月曜日から毎週金曜日 午前7時50分から午前9時
- (2) 脊椎外科検討会：毎週水曜日 午前7時から午前7時50分
- (3) 抄読会： 毎週木曜日 午前7時30分から午前8時
- (4) 合同カンファランス：毎週水曜日 午後5時30分から午後9時
- (5) 病棟リハビリカファランス：毎週第2, 4月曜日 午後6時より午後7時

6) 主な参加学会

日本整形外科学会	中部日本整形災害外科学会	日本リウマチ学会
日本臨床リウマチ学会	日本手の外科学会	日本脊椎脊髄病学会
日本股関節学会	日本人工関節学会	日本骨折学会

7) 定期的に参加する研究会など

- (1) 東三河整形外科勉強会 年12回
- (2) 名古屋大学整形外科合同カンファランス 年12回
- (3) 整形外科集談会東海地方会 年4回
- (4) 鶴舞整形外科症例検討会 年1回
- (5) 東海骨・関節疾患研究会 年1回
- (6) 東海整形外科外傷研究会 年2回
- (7) 東三河リウマチ研究会 年2回
- (8) 東三河脊椎研究会 年4回
- (9) 三河関節外科懇話会 年2回
- (10) 三河骨軟部腫瘍研究会 年1回
- (11) 豊橋整形外科研修セミナー 年2回
- (12) 名静整形外科研究会 年2回
- (13) 東海脊椎外科研究会 年2回

- (14) 東海関節外科研究会 年 2回
 (15) 東海人工関節研究会 年 1回
 (16) 東海手の外科 C.C 年 4回

5. 主な経験目標

1) 受け持ち患者の疾患および参加する手術は年度に応じて考慮されます。

	A類	B類	C類	D類
1年度	術者	助手または術者	助手	助手
2年度	術者	術者	助手または術者	助手
3年度	術者	術者	術者	助手または術者

A類 四肢良性腫瘍・滑液包切除術、膿瘍切開術、関節切開術、アキレス腱縫合
 四肢切断術、脱臼・骨折手術・経皮ピンニング、ギプス法、鋼線牽引法、
 内固定材料除去術、関節造影術・血管造影術・脊髓腔造影術など

B類 骨髓炎手術、骨折・脱臼観血的手術、良性骨腫瘍切除術、手・足の靭帯縫術
 植皮術、絞扼性神経障害手術

C類 椎間板ヘルニア手術、膝関節鏡および鏡視下手術、関節形成術（固定術、
 授動術）、人工骨頭置換術、偽関節手術、リウマチ関節滑膜切除術、骨延長術・
 短縮術、手の腱・神経手術

D類 脊椎固定術、脊髓除圧術、脊髓腫瘍手術、膝・股人工関節全置換術、
 関節形成術（骨切り術）、上肢・足の機能再建術（腱移行術）、
 マイクロサージャリー

2) 研究会・学会発表・論文発表

- | | | | |
|-----|------|----------------|------|
| 1年度 | (発表) | 整形外科集談会東海地方会 | 1回以上 |
| | (論文) | 症例報告 | |
| 2年度 | (発表) | 整形外科集談会東海地方会 | 1回以上 |
| | (発表) | 中部日本整形外科災害外科学会 | 1回以上 |
| | (論文) | 症例報告 | |
| 3年度 | (発表) | 中部日本整形外科災害外科学会 | 1回以上 |
| | (発表) | 各専門学会、 | 1回以上 |
| | (論文) | 症例報告 | |